

鳥羽高校は、平成 27 年度より SGH 校として新たな価値を創造するグローバル・リーダーの育成に取り組んでいます。

令和元年度の新しい取組

◆「グローバルまちづくり高校生サミット」の開催

◆SGHの取組を発展させた単位制カリキュラムの研究開発

SGH 指定 5 年目の主な授業内容

	総合的な探究・学習の時間及び学校設定科目	内 容
1 年生	イノベーション探究Ⅰ	京都・海外フィールドワーク等をととした新たな価値の再発見
	グローバル・コミュニケーションⅠ	京都の伝統・文化をテーマとした英語プレゼンテーション
	ソーシャル・インテリジェンス	ICT スキルと統計学を用いた社会の諸問題の多角的分析
2 年生	イノベーション探究Ⅱ	価値観の対立するグローバル・イシューの解決に向けた協働研究
	京都の風土・世界の風土	京都と世界諸地域の風土・文化における関係性の考察
	グローバル・コミュニケーションⅡ	批判的思考力・表現力を育成する英語ディベート、英語論文作成
3 年生	イノベーション探究Ⅲ	世界の大学生とともに地域・言語・世代を超えた新たな価値を提言
	グローバル・コミュニケーションⅢ	課題研究内容に関する英語論文作成・ディスカッション

1 年生 「イノベーション探究Ⅰ」の取組から

課題研究とは？ まちづくりとは？

4 月 27 日（土）に京都大学大学院工学研究科教授の神吉紀世子先生をお招きし、ワークショップを実施しました。『『課題研究』と『まちづくり』の間を考える』をテーマに「地域創造＝まちづくり」を切り口として、活発なワークや講義をととして、京都のまちづくりの特長や課題について考察しました。



文化財＝かちづくり

5 月 25 日（土）に京都文化博物館の村野正景・西山剛両学芸員をお招きし、ワークショップを実施しました。古文書などの文化財に加え、身近なモノについての資料調書を作成するワークをととして、身近なモノから情報や価値を引き出し、資料化する手法やその重要性を学びました。



フィールドワーク入門&ワークショップ入門

6 月 22 日（土）に福知山公立大学の杉岡秀紀准教授と、ティーチング・アシスタントとして大学生 1 名をお招きし、ワークショップを実施しました。フィールドワークとワークショップの意義や作法について学び、実際に「京都をより住みやすいまちにするための方法」をテーマにケーススタディを行いました。



2 年生 「イノベーション探究Ⅱ」の取組から

鳥羽高校の探究活動（課題研究）について

5 月 11 日（土）、本校卒業生である京都光華女子大学の乾明紀准教授をお招きして、講義及びワークショップを実施しました。高校生にとって良い探究活動とは「自分が知りたいこと」・「自分ができること」・「社会に役立つこと」の三つが重なったものであることなど、探究活動に関する重要な点を学びました。



よい研究発表とはどのようなものか？

6 月 8 日（土）に大阪大学の進藤修一教授、柿澤寿信講師をお招きして、講義及びワークショップを実施しました。探究活動を進めるにあたっては、「分析＝分ける」と「論理＝つなげる」の 2 つの考え方を意識する必要があることを学習した上で、その手法を具体的な探究の例をもとにワークで学びました。



国立民族学博物館フィールドワーク

7 月 6 日（土）に国立民族学博物館を訪れ、人類文明誌研究部の池谷和信教授から「人間らしさとは何か～認知革命とビーズ～」をテーマに御講演いただき、人類規模・地球規模で物事を捉えることの大切さを学びました。その後、実際に常設展示・特別展示を見学し、人類が築き上げてきた壮大な文化について考察しました。



鳥羽グローバル・サミット

7月10日（水）から7月14日（日）にかけて、シンガポール国立大学、復旦大学（上海）に在籍する6名の海外大学生及び、きょうと留学生ハウスの13名の留学生の協力のもと、11の国・地域から合計19名をお招きし、鳥羽グローバル・サミットを開催しました。サミットでは下記の授業等における協働学習や、京都市内で課題研究を行う「KYOTO フィールドワーク」を行いました。

「イノベーション探究Ⅲ 英語論文発表・ディスカッション」

3年間にわたる課題研究の集大成として、作成した英語論文をもとに、海外大学生・留学生と英語でディスカッションを行いました。研究テーマごとに分かれて、他の地域・言語・世代を超えて価値観を共有し合い、発見した新たな価値をポスター発表により提言しました。

＜テーマの例＞ ●世界の食糧の偏在問題の原因を探る、移民の未来～移民を取り巻く環境はどう変化するのか～

生徒の感想より

3年間をととして、英語で自分の言いたいことを伝えることができた、自分自身の成長を感じることができた。



「グローバル・コミュニケーションⅠ」

「海外大学生・留学生が知らない驚くべき京都」をテーマに各人が作成したレポートを英語でプレゼンテーションを行うことにより、情報発信力を高めました。

＜発表テーマ例＞

●季節によって変化する舞妓の髪飾り



「京都の風土・世界の風土」

シンガポールと上海の英語地図から情報を読み取り、それぞれの都市の特徴について英語で表現しました。これまで京都の都市のあり方を学習していた生徒たちは、海外大学生・留学生との対話をととして、京都と海外都市の共通点・相違点に気づきました。



「グローバル・コミュニケーションⅡ」

グローバル・イシューをテーマとして英語でディベートを行いました。「イノベーション探究Ⅱ」の課題研究内容と関連させつつ、論理的思考力と課題解決能力を高める取組を実施しました。

＜ディベートのテーマ例＞

●現金通貨の代わりに仮想通貨を使うべきか



「総合数学」

海外大学生・留学生と英語を用いつつ、数学に関連するパズルや暗号を解く課題解決型のグループ学習を行うとともに、レジ袋にピンポン球が何個入るかといった、とらえどころのない量をモデル化して概算するフェルミ推定に挑戦しました。



「グローバルまちづくり高校生サミット」

「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標11「住み続けられるまちづくりを」に基づき、「京都を訪れる外国の方が増えている中で、私たちにできることは？」について、海外大学生・留学生とともに、議論、グローバル社会にふさわしいまちづくりの在り方に関する提言を英語で発表しました。

生徒の感想より

京都のことだけでなく世界のことも深く知ることができた上にSDGsについて新たな考え方をみつけることができた。



株式会社片岡製作所（京都本社）インターンシップ

7月5日（金）、SGH 韓国ソウル海外研修の参加者10名と、SGH 上海海外研修の参加者10名がインターンシップを行いました。片岡宏二代表取締役社長からグローバル社会で活躍するために必要なことについて御講演いただき、工場見学ではレーザー加工技術の最先端の活用法について学びました。



JICA 関西ワークショップ

7月24日（水）、公益社団法人青年海外協力協会 JOCA 大阪代表の河合憲太氏（本校卒業生）と職員の吉田悦子氏をお招きし、JICA 関西ワークショップを行いました。1年生グローバル科全員と1年生普通科の希望者合計87名が参加し、国際協力と多文化共生のあり方について考察しました。



今後の SGH 行事予定

▶ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/toba-hs/>

令和元年	9月	SGH 韓国ソウル海外研修
	10月	SGH 上海海外研修、秋の歌会、京都府立図書館レファレンス
	11月	SGH 事業研究発表会・「イノベーション探究Ⅱ」ポスターセッション
	12月	SGH 全国高校生フォーラム、SGH 台湾海外研修
令和2年	1月	京都府海外サテライト校（冬期オーストラリア）留学、「イノベーション探究Ⅰ」立命館大学課題研究宿泊研修
	2月	「イノベーション探究Ⅰ」課題研究発表会、京都府教育委員会主催グローバルネットワーク京都交流会